

# オオムラサキの幼虫を作ろう

大和郡山市立郡山南幼稚園（奈良県大和郡山市）

[ 5 歳児 ]

## ●ねらい

オオムラサキの成長に興味・関心をもちながら特徴に気付き、自分なりの思いを表現することを楽しむ。

## ●保育者のねがい

幼虫が成長する様子を継続的に見てきた。見たこと感じたことをそのままにしておくのではなく、話し合いや製作を通して、対象物そのものに心を通わせて見ること、また、細かく見ることで生態に気付く・つなげて考えるという機会にしていきたい。



幼児の姿・ことば	保育者のかかわり
<p>「色、変わってきた。黄緑から緑になってきた」                      「どんどん皮、脱いできた」                      「皮は、いつ脱いでいるのかな？」                      「身体曲げたり伸びたりして大きくなってきた」と、口々に思ったことを話す。</p> <p>「身体にもフワフワって毛があるよ」                      「背中にとがった三角みたいなの付いてた」                      「始めは点みたいやっただのに、だんだん三角になってきたよ」                      「8個、付いてるよ。数えたもん」</p> <p>枝渡ししているオオムラサキを見て、                      「小さい足もいっぱい付いている」                      「短くてチクチクした毛みたいやな」                      「身体クネクネしている」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの個々の発言を大切に受け止める。</li> <li>・「そうね。他に幼虫の身体で発見した所ある？」</li> <li>・「そう。そんなの、あったね。」と共感する。</li> <li>・「何個ぐらい付いてるのかな？」</li> <li>・「へー数えたの？よく知っているね」と、知っていたことをみんなに広める。</li> <li>・「足も、どうなってるかな？」</li> <li>・「いろいろなこと発見できたのね。」</li> <li>・製作に活用できる材料を紹介し、「これ何に使えるかな」とイメージを広げるようにする。</li> </ul> <p>画用紙（緑系）・染紙・紙紐・麻布・綿布・梵天・モール・                      いろいろな材質の紙（薄ピンク系・クリーム系・オレンジ系）</p>



「身体のギザギザを作ろう」  
 「三角みたいな、あったな」  
 「角、何個あったかな？」  
 オオムラサキを見に行き、  
 「やっぱり8個あるわ」と確認する。



「頭に、角、付いてた」  
 「背中に模様、付いてるわ」  
 「カタツムリみたいな角や」



「足、いっぱいあった」  
 「くっ付き虫みたいや。  
 葉っぱから落ちないようにかな？」  
 「目は下に付いてたよ」



## ●考察

自分の見たこと、感じたことを製作によって表現することで、毎日の世話を通して捉えた印象的な幼虫の足、胴体、顔などを表現することができた。幼虫の体の特徴に見合った材料を探し、曖昧な所は実物と見比べながら製作していく子どもの姿から、子どもが幼虫の細かい部分まで捉えようとしていることが分かった。

## みどころ

見たこと、感じたことを製作しながらつぶやく子どもの姿に視点を当てて、考察されています。子どもの言葉から、工夫して表現しようとする様子を捉えることで、改めて、子どもたちが幼虫のどのようなところに関心をもったのか、どのような気付きをしていたのかが明確になったと思います。自分の思いや考えを様々な形で表現しようとする、さらに細かい部分をよく観ようとしたり、確かめようとしたりして、「科学する心」の育ちにつながります。